

# 論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 95 号

2019 (平成31) 年3月16日 (土)

## 『ホームステイを経験して』

ちとせしりつとみおちゆうがっこう ねん かいどう ゆめ  
千歳市立富丘中学校 2年 街道 夢

今年の1月、アメリカのアラスカ州にある、アンカレッジ市で、一週間ホームステイをしてきました。

私自身ホームステイをするのが初めてでとても緊張しましたが、受け入れてくれたホストファミリーのグエネスや、その両親、そしてグエネスが通っているミアーズ中学校の人達はとても優しく、安心して生活を送ることができました。

アンカレッジ市は北海道よりも寒く、私が行った時は-20℃の日もありました。顔が痛くなるくらい空気が冷たかったのを覚えています。町の住宅はどの建物も大きく、道路はとても広かったです。

ミアーズ中学校に訪問した時は、日本の学校との違いに驚かされました。たとえば、制服がなく私服であることや、化粧や髪の毛を染めてオシャレを楽しんだり、学校に小さな売店があり、そこで飲み物などを買うことができ、お菓子を持ってくることもできます。給食がなく個人で家から昼食を持ってきます。

飲み物は、Sサイズがほしい日本のLサイズぐらいで、アメリカのLサイズは1.5リットルぐらいの量もありとてもびっくりでした。

グエネスやミアーズ中学校の人達は、驚くほど日本語が上手で、いつも隣りに通訳がいるような感じでした。

今回の素敵な経験を通して、アメリカの文化や習慣、日本との違い、今まで知らなかった英単語や会話の仕方など、言語だけでなく生活や歴史など様々なことを学ぶことができました。

一週間という短い期間でしたが、アラスカで出会った人達と交わした言葉や会話、行動には思いやりが溢れていました。

やはり日本にいても、アメリカにいても、きっと他の国でも、仁の心というのは変わらない大切なものなのではないかな、と思います。本当に、最高に充実した一週間でした。

この経験をこれからの生活に生かし、仁の心を忘れず、1日1日を過ごしていこうと思います。

じゅく せい しょう かい  
塾 生 紹 介

古畑 敦子さん (氏 名) 松倉 あかりさん

日本ヨーガ学会講師 (会社・学校) 札幌市立北九条小学校3年

国語・社会 (好きな教科) 英語

ギャラリー(カフェ)めぐり (趣味) 工作

田辺聖子さん(小説家) (尊敬する人) 両親

(その他)

週に数回ヨーガの教室で案内役をしているそうです。芸術作品や映画・演奏や演劇を観たり聴いたりすることが好きで、他にはものを作ったり直したりすることも好きだそうです。

月に一度の寺子屋での坐禅と論語のお話を楽しみにしているとのこと。

(先生からのコメント)

娘さんと息子さんの二人の子供さんは、社会人として立派に成長されているそうです。以前、子供さんが学校に行っていた時、PTAの役員を引き受けることになり、大変苦労したけれども、それによって成長した自分が今日あることを懐かしく思い出されるそうです。インタビューを通して、古畑さんの誠実なお人柄を垣間見る思いがしました。

習い事は、英会話とピアノとヒップホップダンスだそうです。その内、何かの折に本人に是非一度披露してもらえたら嬉しいですね。習い事は本人にとってどれも楽しいとのこと。あかりさんは、手のかからない穏やかな心の優しい子だと、お母さんが話してくれました。

坐禅も論語のお勉強も楽しみに参加しているとのこと。人の話を真剣に聴くあかりさんは、これからの成長が楽しみな子供さんだと思います。

私が先月詩を引用して、いじめの話をしました。お母さんは早速書店へ行き、「学校は飯を喰うところ」の本を買ってきて読まれたそうです。お母さんの行動力には頭が下がります。